

町長の行政報告

(令和6年第4回一宮町議会定例会)

一 宮 町

《はじめに》

皆さん、おはようございます。

本日ここに、令和6年第4回一宮町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本定例会では、令和5年度の決算認定や同意案など合計13件の案件をご審議いただきますが、開会に先立ちまして、町政運営の概況をご報告申し上げます。

《総務課》

はじめに、総務課所管の防災関係についてであります。

先の9月29日に、津波避難訓練を実施いたしました。

当日は、町民の皆様が、避難の経路や所要時間を確認することで、適切な避難を行えるようにすることを目的とし、消防団や自主防災会、地元区、アマチュア無線クラブ、津波避難施設の方々など多くのご協力を得て、771名の町民の方にご参加いただきました。

また、同日開催で、消防団主催の消防体験フェスをおこないました。こちらは、お子様たちも放水体験などを通して、消防団をより身近に感じていただけるイベントとなりました。

次に、11月21日に町内で木造住宅が全焼し、お住まいの方が負傷を負い、隣家に延焼する火災が起きました。対応にあたっては、多くの消防団員の方が出動し、消火活動に従事しました。被災された皆様にお見舞いを申し上げるとともに、消防団員の皆様のご尽力に感謝を申し上げます。

《企画広報課》

続きまして、企画広報課所管の業務についてであります。

一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点戦略に掲げております「世界サーフィン保護区認定」に向けた取組についてですが、第1弾として、11月10日に中央公民館を会場に「町の魅力発表会」を開催いたしました。

当日は、各種団体のキーパーソンがパネリストとなり「一宮に欠か

せない魅力」や「世界サーフィン保護区に認定されることが町にどのような効果があるか」などを中心にディスカッションを行いました。参加した小学生からは、自然豊かな伝統的歴史として今も存続している地曳網などについて、絶やすことなく後世に残してゆきたいといった一宮愛にあふれるご意見などをいただきました。

当日は75名の参加により成功裏に終了することができ、今後も「世界サーフィン保護区認定」の申請で必要となる5つの評価基準に沿った、講演会やワークショップなどを町民参加型で行うことで、「町の魅力」を多くの皆様と共有してまいります。

《税務課》

続きまして、税務課の所管業務についてであります。

地方創生臨時交付金を活用し物価高騰対策として、本年6月議会で予算措置した、定額減税補足給付金事業についてですが、10月末に受付を終了し、97%にあたる2,034人の方に給付を行いました。

なお、令和6年分の所得税額が確定した後、当初の給付額に不足があることが判明した場合は、令和7年度中に追加で給付する予定です。

今後、国からの情報が得られ次第、速やかに給付できるよう事務手続きを進めてまいります。

《福祉健康課》

続きまして、福祉健康課の所管業務についてであります。

はじめに福祉事業関係です。

長引く物価高騰に伴う生活支援として、令和6年度に新たに住民税非課税、均等割のみ課税となる世帯を対象に、1世帯あたり10万円を、またその世帯のうち、平成18年4月2日以降に生まれた18歳以下の児童を扶養している世帯に、児童一人あたり5万円を給付する「低所得世帯支援金給付事業」についてであります。10月15日に受付を終了し、260世帯、子ども加算については、36世帯60人分の給付金をそれぞれ、支給いたしました。

次に健康事業の関係です。

令和6年度から新たに助成を開始いたしました「こどものインフルエンザワクチン任意接種」であります。10月1日から実施医療機関において、接種が開始されております。

なお、接種期間は例年実施しております「高齢者のインフルエンザワクチン定期接種」と同様に1月31日までとなっております。

接種をご希望される方は、医療機関の混雑が予想される年末年始を避けてくださいますようお願い申し上げます。

《子育て支援課》

続きまして、子育て支援課所管の業務についてであります。

保育所関係ですが、町内保育所・認定こども園の令和7年度入所入園1次申込み受付が11月1日に締め切りとなりました。その申込み状況について在園児数を含めご報告いたします。町内4ヶ所の保育部全体の定員が380人のところ306人の申込みがありました。しかし、入所希望施設及び年齢別のクラスによっては定員超過となっているため、このあと入所調整を行い、1月上旬に申込み者に結果を通知する予定です。

また、児童手当の拡充ですが、12月支給分より所得制限を撤廃し高校生世代までの支給期間延長をいたします。また、第3子以降の支給額は月額30,000円に増額し、支払月が年3回から偶数月の年6回となりました。このことにより児童手当支給者が約300人増加しました。

次に、『子ども・子育て支援事業計画』ですが、現在、第3期計画を子ども・子育て会議での意見を反映させており、年内に素案を作成する予定です。さらに、年明けにパブリックコメント及び最終案についての検討を行い、3月に完成する見込みです。

《産業観光課》

続きまして、産業観光課所管の業務についてであります。

まず農業関係について申し上げます。

森林環境譲与税に関連する協定を締結した市川市と、先の

10月12日に里山への理解や関心を深めることを目的に「憩いの森合同イベント」を開催いたしました。当日は、市川市の児童29名、一宮町の児童9名が参加し、天候にも恵まれ、市川市の自然観察専門員の解説を受け、児童が自然と触れ合い、森づくりの楽しさや大切さを感じ、互いをつなぐ出会いの場となりました。

また、第43回「一宮町農林商工祭」を10月27日に開催いたしました。町内店舗をはじめ、合計41団体の出店等があり、出演団体の創意工夫を凝らしたイベントや、サンマ、野菜などの特売も行われ、会場は大いに盛り上がり、約2500人の方にご来場いただきました。

次に、長生地域の農業を総合的に支援する長生農業独立支援センターについてですが、今年に入り、これまで2名が、長ネギとハーブで新規に就農しております。さらには、トマト、梨、イチゴの各栽培品目を希望する4名が新規就農に向けて研修等を行っております。今後、農業人フェアや就農相談イベントへの参加、さらには、農業見学・体験バスツアーなどを開催し、新規就農者の育成、及び安定的な営農定着を目指し、長生農業独立支援センターと協力してまいります。

続きまして商工関係です。

まず「プレミアム付き商品券」の経過報告です。

今回は大変好評であり、発行数3,600冊に対して4,444冊の購入申込をいただき抽選による販売となりました。現在は、販売期間が終了し、町内の各種店舗でご利用いただいております。使用期限は来年1月15日までとなっておりますので、引き続き利用促進に向けた周知活動に努めてまいります。

次に観光関係です。

10月6日に「第11回九十九里トライアスロン」を開催いたしました。今年も2,000名程のエントリーがあり、2024年中で日本最大級のトライアスロン大会となりました。九十九里有料道路及び一宮海岸周辺においてレースを行い、ボランティアとして多くの地域住民の方にもご参加いただきました。そして、フィニッシュ会場では多くの選手の皆様から、「ボランティアの心温まる声援に励まされ、無

事に完走できた」と、感謝の声をいただきました。また、昨年同様、参加者に対し、町内加盟店で利用できる1,000円のクーポン券を配布したところ大変多くの皆様にご利用いただき、この大会がもたらす経済効果を実感いたしました。今回も安全対策に万全を期し臨んだ結果、大きな事故もなく、大会を終えることができました。今後も町民及び全国の参加者に愛される大会になるよう、大会実行委員会にて努めてまいります。

《都市環境課》

続きまして、都市環境課所管の業務についてであります。

はじめに「建設事業」についてです。

今年度予定している道路工事につきましては、11月28日に今年度9回目となる入札を行い、件数ベースで9割の発注を終えました。

残りの工事につきましても、1月中の発注を予定しているところであり、確実に今年度の予定工事を進め、支障箇所の改善に取り組んでまいります。

次に「有害鳥獣対策事業」の関係です。

イノシシなどの有害鳥獣による農作物への被害防止対策として、猟友会の皆様などと連携し、継続的に、捕獲・駆除による対策に取り組んでおります。

今年度につきましては、11月末までに、イノシシやニホンジカなどの大型獣24頭、キョンやアライグマなどの小型獣231頭を捕獲・駆除いたしました。

引き続き、有害鳥獣による農作物への被害を防ぐため、捕獲・駆除による対策に努めてまいります。

次に「都市整備事業」の関係です。

ストックマネジメント計画に基づく、中央ポンプ場の大規模改修事業につきましては、昨年度から進めてまいりました「ポンプ長寿命化工事」が、11月29日に完了いたしました。

今年度は、引き続き、換気・空調設備他更新工事と電気設備更新工

事を進めてまいり、安心安全な生活に資する中央ポンプ場の安定的な排水機能の確保に取り組んでまいります。

《教育課》

続きまして、教育課所管の業務についてであります。

まず、学校教育関係についてです。

8月7日に一宮町通学路安全推進会議において、通学路合同点検を実施いたしました。指摘事項につきましては、関係課や関係機関と協力しながら、カーブミラーや立て看板を設置するなど、10月までに対応し、通学路の安全確保に努めております。

次に、小中学校の行事についてです。一宮小学校は10月19日、東浪見小学校は10月26日に秋季大運動会を開催いたしました。両日とも天候に恵まれ、児童たちは日頃の成果を存分に発揮することができました。

中学校では10月18日と23日に「やまゆり祭」が開催されました。合唱コンクールでは、各学年の合唱や吹奏楽部の素晴らしい演奏などが披露されました。

次に、小中学校の工事や修繕などの実施状況についてです。東浪見小学校では校舎の雨漏り対策のため、応急的に屋上防水修繕を行いました。限定的ではありますが窓サッシ工事も実施した結果、現在のところ台風などの大雨においても広範囲の雨漏りは発生しておりません。また、令和8年度の大規模改修に向け、改修の規模を判断するための校舎耐力度調査委託料を本議会の補正予算で要望しておりますので、ご審議の程よろしくお願いいたします。

一宮小学校では本格的な夏の暑さになる前に、相談室や給食調理員の休憩室にエアコンを設置するとともに、冬に向けて暖房機の点検を実施し、結果に基づいた修繕を行いました。また、給食事業においては給食備品のガス回転釜を新たな機器へと更新いたしました。

一宮中学校では、給食施設の給湯管漏水工事を実施したほか、冷蔵庫やガス炊飯器を新たな機器へと更新いたしました。また、放送設備更新工事を実施するなど、生徒の安全確保に努めております。

引き続き、児童生徒が安心して学習に取り組める環境作りを進めてまいります。

次に社会教育関係です。まず秋の恒例行事、総合文化祭の関係です。10月27日に予定しておりました芸能音楽祭は、衆議院議員選挙のため、急きょ中止となりましたが、11月2日から4日にかけて開催した文化祭では絵画や陶芸、写真、工芸、書道、手芸、歴史や自然関係、小中学生の作品など幅広い分野の展示を行い、3日間で約700人が来場いたしました。茶道の実演や水墨画、手芸、軽スポーツの体験などもあり、芸術文化を楽しむ機会となりました。

次に、文化財関係です。7月26日から9月30日まで「秋山先生と一宮町の自然」をテーマに公民館2階で企画展示を実施しました。長年、一宮町の自然と生物を研究された秋山章男先生の資料から、一宮海岸や一宮川を中心とした町の自然に関する展示を行いました。また12月22日には、「一宮藩の海防政策と九十九里地域」をテーマに、第2回目の文化財講座を開催する予定です。

次に町史編さん事業についてです。現在、各分野の調査を進めながら、並行して『一宮町史研究』の創刊号を編集中です。歴史や自然など幅広い分野の充実した内容になる予定です。また令和7年に綱田出身の政治家・関和知の没後100年を迎えることから、2月1日に同志

よしのり

社大学の河崎吉紀教授をお招きして講演会を開催する予定です。

次に、今年度の「成人のつどい」についてです。令和7年1月12日に、20歳を迎える方を対象として、GSSセンターで式典を開催します。

最後に中央公民館の整備についてです。一宮町中央公民館建設検討委員会を7月から5回開催し、11月6日の最終回で報告書をまとめました。今後は、報告書に基づき、公民館の機能だけでなく幅広い用途で利用できる複合施設として、整備を進めていく予定です。

終わりに、この定例会には、認定5件、協定の一部変更など3件、補正予算案4件、同意案1件を提案しましたので、宜しくご審議下さるようお願い申し上げます。以上で行政報告を終わります。